

知識や技術プロから学ぶ

小中290人参加し野球教室

五所川原

五所川原市スポーツ協会（飛嶋克好会長）は14日、同市のつがる克雪ドームで、小中学生対象の野球教室を開いた。西北地域の野球チームを中心とした小学生4年生から中学2年生までの約290人が、プロ野球の選手やコーチから知識や技術を学んだ。

五所川原朝野球協会、一心亭、幡龍が共催。東北栄天ゴールデンイーグルスの育成コーチ鷹野史寿さん、二軍打撃コーチ高井雄平さ

ん、伊藤兼央投手、坂井陽翔投手、大内誠弥投手、横浜DeNAベイスターズの庄司陽斗投手の6人が講師を務めた。

午前小学生の部、午後中学生の部を実施。小学生の部では講師がこつをアドバイスしたり褒めたりしながら打撃や守備を指導した。最後は学年ごとに勝ち残り方式でノックを行い、子どもたちが練習の成果を發揮して講師が打つボールをキャッチした。

つがる市の車力小6年松橋火登土君は勝ち残りノッ

クで優勝し、「1位が決まった瞬間はうれしかった。一人ひとりにバッティングや守備などでアドバイスしたり褒めてくれたりして、少しずつうまくなるのが分かり、とても良い機会になった」と話した。

（吉田和華子）

鷹野さん（左端）から指導を受ける児童たち

